

実用スペシャル

アトランティアン・タブレット

# クリスタル・ヒーリング入門

超文明アトランティスの肉体と魂の癒しテクニック!

はるかな昔、海底深くに沈んでしまい、  
伝説と化した超文明大陸アトランティス——。  
その叡智が、今、私たちの前に開示された。なかでも、  
クリスタル・テクノロジーは、心身の癒しを実現し、  
人類の未来を切り開く可能性を秘めたテクニックである!

文・構成 = 北川隆三郎

イラストレーション = 鈴木真紀夫

フランク・アルバー著「アトランティス」より

# 超古代アトランティス文明の クリスタル・テクノロジー

## アトランティスの

## 謎を解き明かした

## チャネリング

驚異のテクノロジーを誇り、栄華を極めたと伝えられる超古代アトランティス文明。その謎を解明しようと、さまざまなアトランティス論が生まれ、多様な角度からの探求が行われてきた。

しかし、その実像は、いまだ海底深く沈み、数々の神秘に覆い隠されたままではないだろうか。

フランク・アルパー著『アトランティス』（コスモ・テン・パブリケーション刊）は、この謎を「チャネリング」という特殊な方法によって解き明かしている特異な本である。

チャネリングという言葉は、すでに本誌の読者であれば説明を要しないかもしれないが、簡単にふれておこう。

チャネリングは、従来の霊媒やシャーマンが行っていた神や霊的存在からの啓示や神託、霊言などの現代版といえるものだ。

ただ、情報を提供する存在が異星人であったり、宇宙意識（宇宙の情報バンク）であるなど、地球圏外から情報もたらされるケースが多く、そこが従来のものと大きく違う。伝えられる情報も、時間的、空間的に壮大な規模、量におよぶものが多い。

『アトランティス』では、アトランティス時代に転生していた長老（エルダー）にチャネリングで直接コンタクトしたり、あるいは、宇宙の情報バンクに接続して、アトランティス文明における生活文化やテクノロジーなどの情報を豊富に引きだしている。

それは実証的な研究からは決して得られない、膨大かつ詳細なものが、なかでもクリスタルに関するテクノロジーやテクニクは、他の追隨を許さないほどに詳しく、また具体的な手法に満ちている。

## 作業仮説として

## チャネリング情報を

## 活用する

ところで、チャネリング情報の多くは、たいへん興味深い内容ではあるが、それを実証的に確かめる術がない。そのため、チャネリング情報に接する態度は、これまで大きく2つに分かれる傾向にあった。

そのひとつは、与えられた情報を、無批判にそのまま受け入れるという旧来の宗教的な態度である。そして、もうひとつは、そのような情報はいっさい相手にせず、無視するという実証的、批判的な立場だ。

チャネリングという現象自体が、いまだに私たちにとって解しがたい未知の領域のものであることは事実だ。これを無批判に受け取るという宗教的な立場は、ときには

教条主義や権威主義に陥り、大きな過ちを起さしかねない。

しかし、一方の批判的な態度というのも、これらの情報を詳細に検討してみることによって得られる、これまでにない新しい知見の発見を考えると、たいへん視野の狭い態度といわざるをえない。

では、チャネリング情報に接するにあたって、どのような態度をとつたらいいのだろうか。

筆者は、これらの情報を、作業仮説として受け入れることをすすめたい。そして、チャネリングで与えられた情報をひとつひとつ検証するのである。それは、決してムダな作業ではない。むしろ、良質なチャネリング情報には、たいへん有益な情報が数多く含まれているケースが多いのである。



↑『アトランティス』の著者、フランク・アルパー。

なかでも、今回、紹介するフランク・アルパーは、1970年代初めから活動している人物で、彼の下で学んだ者の中から、現在活躍しているチャネラーやヒーラーがたくさん輩出している。いわばこの分野のパイオニアであり、重鎮的な存在といえる。

フランク・アルパーは、ここ20年にわたり、欧米を中心に信頼を集め、人格的にも奥行きが深い、バランスのとれた人物だ。近年のチャネリング・ブームに乗った一時的な存在ではない。それは『アトランティス』を読んでみることも理解されるだろう。

実際、その語り口はきわめて格調があり、最近のチャネリング情報に見られる「軽さ」はなく、むしろ、重厚で威厳に満ちた語り口が魅力となっている。同書は、読み込むにしたがって、その奥行きに深さに感心させられる本である。

## 検証可能な

### クリスタル・

### テクニクの実践

もちろん、『アトランティス』に提供されている情報は、現在の人類の知識からすると、相当に飛躍したもので、一概にすべてを真実

として受け入れることはできないだろう。

しかし同書の中で、もっとも豊富に提供されているクリスタルに関する技術は、私たちが日常生活の中で実際に使い、検証することのできるものだ。

チャネリングによってもたらされた情報の真偽を確かめるには、私たちがその情報を使い、日常の場面や、さまざまな実験の場で検証し、役立てることができるといえる。確かめる、という作業が必要なのではないだろうか。



そう感じていただける読者のあなたは、ぜひ、この情報が真実のものなのかどうかを確かめてもらいたい。そして、もし、そこで腑に落ちるものがあるならば、おそらくあなたはアトランティスから転生してきたエルダーのひとりなのかもしれないのだ。

エルダーとは、アトランティス時代に生を享け、古代の叡智を復活させようと、現代に転生してきた者のことをいう。そして、古代の叡智を浮上させることは、宇宙のほかの文明への門戸を開き、人

類の未来を切り開くことになる。

その第一歩として、アトランティスのクリスタル・テクニクを実践してみよう。それによって、霊的エネルギーや宇宙エネルギーの法則を理解し、この宇宙の神秘を解明する深い叡智を発見することになるだろう。

クリスタル・テクノロジーは、この変革の時代にあつて、今後、ますます重要なものになってくるという。あなたの実験や体験は、必ずや時代が必要とするものになるだろう。

## クリスタルが秘めた エネルギーとは？

ところで、クリスタル・パワーとは、どのようなものだろうか？  
同書では、クリスタルをエネルギーの蓄積器であるとして、以下のように定義している。

「天然クリスタルは、その分子構造のため、宇宙の磁氣的波動の受信機、または送信機として機能する。クリスタルは蓄積器の働きもあり、波動を蓄積することができる。」

クリスタルを使って実験をするには、まず、あなた専用のクリスタルを入手する必要がある。  
また、今回、紹介するアトランティスのクリスタル・テクニクでは、数個のクリスタルを使うので、少しずつコレクションを集めてもらいたい。そのための選択のポイントを紹介しよう。

る。ただし、クリスタルの中のエネルギーが、過飽和状態になった結果、爆発を起こした例もある。アトランティスの崩壊期に、そうしたことが発生した」

ここで語られている「磁氣的波動」とは、磁石などが発する磁氣のことだ。クリスタルがこのような磁氣的波動の発生源となることは、私たちの科学でも知られており、その応用としてコンピュータなどのエレクトロニクス技術が発展してきていることは、皆さんもよくご存じだろう。

さらにクリスタルは、「靈的エネルギー」のようなほかのエネルギー

を蓄えることも可能である」と説明されている。靈的エネルギーやそのほかの宇宙エネルギーは、現在のところ、人類の科学知識では、明確に認識されていない。

しかし、宗教儀式やヒーリング、瞑想、チャネリング、占いなどには、古来よりクリスタルが多様に使われてきており、実践的、經驗的には、クリスタルが靈的エネルギーや宇宙エネルギーを集積したり、発信したりできることは知られてきた。

近年、靈性に目覚めた人々の間でクリスタルが親しまれていることも、このような性質と無関係で

はないのである。

はたして本当に、クリスタルにそのような性質があるのか？ チャネリングによってもたらされたクリスタル・テクノロジーのエッセンスを理解して、ぜひ、あなたに確かめてもらいたい。

そして、アトランティスの栄華と滅亡の鍵を握っているともいえるクリスタル・パワーを、創造的に使ってもらいたいのである。

そこでこれから「アトランティスの著者フランク・アルパーの許可を得て、アトランティスのクリスタル・テクノロジーの全貌を紹介することにしよう。」

# PART 2

## クリスタルを入手して

## 基礎的な実験を試みる

『アトランティス』には、クリスタルの形や大きさなどについても興味深い情報があるので、ここで併せて紹介しておく。

### 選択のポイント

まず、あなた専用の特別なクリスタルを見つけてもらいたい。で

きるだけ自分の目で見て、触り、自分の波動と合うクリスタルを見つけてほしいのである。

大きさ、形、色などには、特別の規定はない。あなたが気に入るかどうかが、選択のいちばん大切なポイントである。ただし、できればいつも持ち歩くとよいので、あまり大きすぎるものは、好まし

くないだろう。

### クリスタルの浄化

クリスタルを手に入れたら、まず最初にすることは、クリスタルの浄化である。

クリスタルは、すでに説明したように、靈的なエネルギーを蓄積

する性質がある。あなたの手元にくる前に、そのクリスタルがネガティブな波動を受けていれば、マインスのエネルギーを蓄積している可能性がある。

そこで、そのエネルギーを浄化する必要があるのだ。以下の手順で行ってほしい。

①クリスタルを入手したら、お湯の中で古いブラシを使ってこすり、表面や割れ目の中の異物を取り除く。

②それからクリスタルを温かい塩水の中に10分間つけておき、蓄積されたネガティブ・エネルギーを取り除く。

③塩水から取りだし、クリスタルが乾いたら、1時間 太陽光にさらしておく。これによりエネルギーが充電される。どうしても必要というわけではないが、定期的に太陽光線にあてるのが望ましい。

④さらに、クリスタルに自分の波動を充電するには、クリスタルを友人として扱うとよい。

瞑想するときは、クリスタルを手握る。手に持ちにくければ、身体に乗せておいたり、近くに置いて自分のオーラの場の中に置くようにすると、クリスタルがあなたのエネルギーを取り込む。どこかに出かける時も、クリスタルを持っていくようにする。

ところで、他人が自分のクリス

## クリスタルの種類

タルに触れると、その人の波動が入るのではないかと心配する人もいるが、気にしなくてもよい。もし、なんらかのネガティブ・エネルギーを感じたら、浄化のプロセスを繰り返せば、ネガティブ・エネルギーを取り除くことができる。

次に『アトランティス』に登場するクリスタルの種類を紹介しよう。クリスタルは、形や大きさ、色などによって用途が違う。ここでは、形と大きさの基本的な分類を説明しておこう（色は後述）。

### ①クリア・クリスタル

透明で純粋なクリア・クリスタルは、エネルギーを蓄積したうえでパワー源として役立てることができるといわれる。このクリスタルには、エネルギーを蓄積し、必要なときに

引き出すことができるという性質があるのだ。

まず、手に入れていただきたいのは、大きさがおよそ4センチ程度の単一頂点クリスタルだ。これには各種の用途があるので、できるだけ多くコレクションしてほしい。霊的通信、ヒーリング、護身用など、各種の用途に使える。

### ②ジエネレーター・クリスタル

これはエネルギーの供給源となるクリスタルで、できるだけ大きく透明な単一頂点クリスタルか原石を用意してほしい。

ただし、クリスタルを使いはじめたばかりの人の場合は、あまり大きすぎるとエネルギーが強すぎることがあるので、最初は5〜7センチ程度の原石をジエネレーターとして使い、慣れるにしたがって大きなものにするとういだろう。個人用なら直径10センチ、高さ

## ■クリスタルの加工

ここで、クリスタルの加工について、少し述べておこう。

クリスタルにパワーを蓄積する目的でクリスタルを設計する場合には、表面にいくつかのファセット（宝石の切断面）をつくるとうい。ファセットの数が多いほど光の反射が多くなり、その結果、エネルギーを蓄積する能力が増すのである。

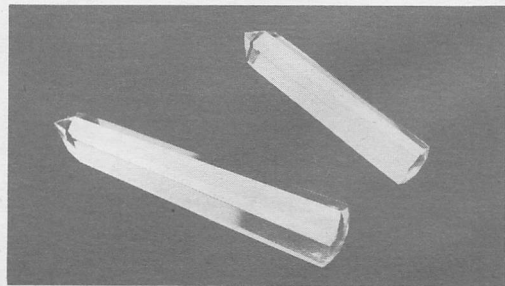
アトランティスでは、12面クリスタルの面内に、多数のファセットをつくり出す技術が開発された。12面カットの基本構造を保ちながら、無数のファセットを有するクリスタルである。それはエネルギーを蓄積するばかりではなく、ヒーリングやそのほかのスピリチュアルな目的でも使うことができる。

あなたがそうしたクリスタルを持ちたいと望むなら、宝石の加工業者に相談し、カットを頼むといだろう。

アトランティスでは、逆ピラミッドの形状で、上の面が球、あるいは釣鐘状につくられたものも使われていた。これらのクリスタルは4面、または6面にカットされ、先端が下に向くようにして使われた。

エネルギーは、球や釣鐘状の部分を通してクリスタルに入射するようになっていた。この部分は、入射密度が最大になるように、そうした形になっているのだ。そして、エネルギーは先端に収束され、高精度、高密度のエネルギーが放射され、ヒーリングなどに用いられていた。

アトランティスではこのほかにも、2頂点クリスタルやラプ・スターなど、各種の形のクリスタルが用途別にカットされて使われていたのである。



◆単一頂点のクリスタル。さまざまな大きさのものがある。

15センチもあれば十分。集団で使う場合は、直径が30センチ、高さが45センチ程度の大きさの原石が好ましい。

### ③クラスター・クリスタル

このクリスタルは、共通の土台から複数の単頂点クリスタルが成

長したものである。2つとか3つの頂点を持つクリスタルなど、数種類のコレクションを持つとよいだろう。

特にヒーリング用に使うが、今回は紙幅の関係で使用法は割愛した。クリスタルの取り扱いに慣れてきたら、『アトランティス』などを参考にして使ってみてほしい。

## 実験1 メッセージの伝達

さて、クリスタルが準備できたら、最初にちよつとした実験をしてみる。クリスタルが、本当にエネルギーを蓄積したり、さらに送信できるかどうかを確かめてみよう。

①まず、クリスタルを手を持って、目を閉じる。

②次に、心の中でイメージや想念を思い浮かべたり、あるいはメッセージを唱える。

③思い浮かべたり、心の中で唱えた頭のあたりにある想念を、エネルギーの塊としてイメージする。

④そのエネルギーの塊を、手に持っているクリスタルに送る。

⑤それからだれかに、そのクリスタルを持ってもらう。

⑥相手にも目をつぶってもらい、エネルギーが、クリスタルから頭のほうに流れてくるとイメージしてもらおう。

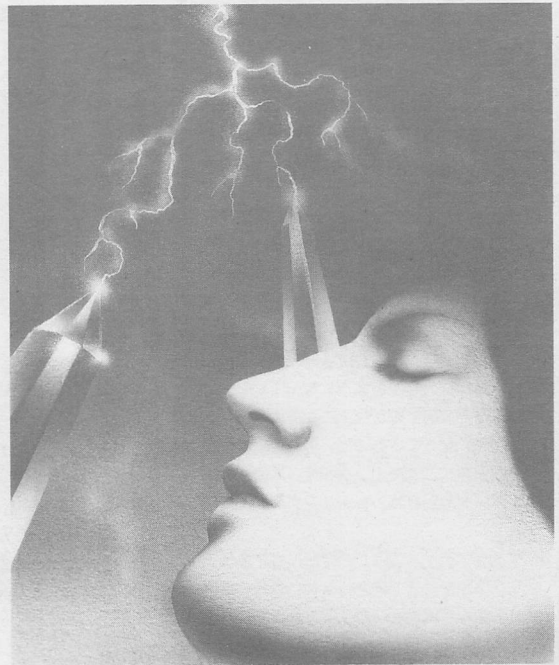
⑦最初に思い浮かんだイメージないしメッセージが、どんな種類のものであったかを聞いてみる。

この実験は、なるべく遊び心をもって行っていたきたい。

最初は、うまくメッセージやイメージを送ることができないかもしれない。しかし、クリスタルに慣れるためにも、この実験を、繰り返し行ってみよう。その結果に驚くようになる時が、きつとくるはずだ。

## 実験2 霊的エネルギーの受信

実験①に慣れてきたら、もうひとつの実験を試みよう。この実験を行うには、ジェネレーター程度のクリスタル2個と、銅線を数メートル分用意する。

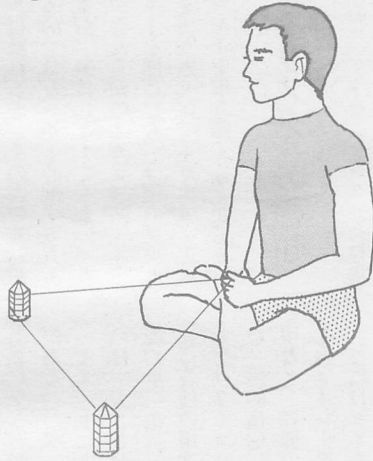


①まず、自分の前に2個のジェネレーター・クリスタルを置く。ちょうどあなたが頂点とした三角形の底辺を形作る位置に、上向きに立てるのである。こうすることで、

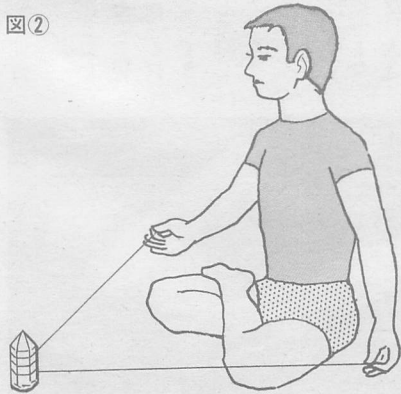
あなたが自身が三角形の頂点となる第3のクリスタルとなる。

②銅線を2個のジェネレーター・クリスタルに3回ずつ巻きつけ、その両端を両手に握る(図①)。

図①



図②



③そして、座って瞑想を始める。  
④瞑想しながら、イメージを使って、あなたが分かち合いたいと思っ  
う対象に集中する。

たとえば、あなたがなんらかの  
宗教を信仰していればその神を、  
あるいはハイアーセルフ（高我）で  
も、先祖でもかまわない。すると、  
エネルギーが増幅され、強められ  
てあなたのところにやってくる。

⑤何か波動を感じたら、瞑想の中  
で会話をしてみるといいだろう。

\*

このやり方により、これまでは  
感じるできなかったエネ  
ルギーがくるようになる。この三角

形のパターンは、エネルギーを増  
幅し、取り込む働きがあるので、  
それを受け取り、マインドの中で  
自分なりのイメージに変換したり、  
言葉にする訓練をしてもらいたい。  
チャネリングやテレパシー能力の  
拡大に使える。

### 実験 ③

## 霊的エネルギーの送信

同様に、神や霊など、異次元の  
存在に向かって自分の願いや考え  
を伝達したいときには、次のよう  
な方法を使う。

①ジェネレーター・クリスタルを

自分の前に1個置く。

②クリスタルの周りに銅線を3回  
巻きつける。

③銅線の端を左右の手で握って、  
その両手を脇に置く。こうすると、  
クリスタルを頂点として、あなた  
が三角形の底辺になる(図②)。

④この状態で瞑想しながら、心の  
中で神や霊などに、伝えたい願  
いや考えなどをイメージする。

⑤イメージがエネルギーとなって、  
銅線からクリスタルに向かって流  
れるように想念する。

⑥さらに、あなたから、三角形の  
頂点にあるクリスタルを通して、  
空間にエネルギーが流れだし、広

がっていく様子をイメージする。

\*

これは、宇宙空間にまでエネ  
ルギーを転送し、放射する方法であ  
り、神や霊ばかりか、宇宙船に乗  
っている宇宙存在と通信するひと  
つの方法でもある。

この手法を使って、自分のエネ  
ルギーを浄化してもらったり、身  
体からマイナスの要素を取り除い  
てもらったり、マインドを癒して  
もらうことができる。

もし、実験してみたいという人  
が何人かいるようであれば、一方  
で「送信用」三角形(図②の配置)  
をつくり、他方は「受信用」三角  
形(図①の配置)をつくってみる  
とよい。そうすれば、自宅にいな  
がらにして、クリスタルを使った  
霊的コミュニケーションの実験が  
できる。

これを実践することで、このタ  
イプのコミュニケーションやエネ  
ルギー・パターンの中継に対する  
感受性が増すだろう。

この3つの実験は、クリスタル  
を使ったエネルギー・テクノロジ  
ーに慣れるためには、とても効果  
のある方法だ。ぜひ、繰り返し行  
ってもらいたい。慣れてくれば、  
ヒーリング・エネルギーの放出や  
受信、チャネリングやテレパシー  
などの霊的コミュニケーションの  
訓練にも使える。

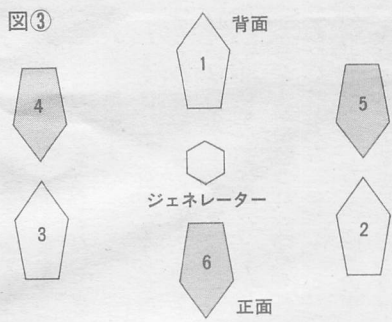
# クリスタルによる体と心のヒーリング・テクニク

それでは、日常生活の中でクリスタルを使って宇宙のエネルギーをコントロールし、ヒーリングやさまざまな問題解決に役立てる方法を紹介していこう。

もっとも重要なのは、独特なクリスタル・パターンである。ここで述べる配置法は、すべてアトラ

## 六芒星——エネルギー・バランスを整える

まず、六芒星として知られる配置から始める。この配置法を見て気づいたかもしれないが、これは「ダビデの星」として知られるパタ



ンテイスの治療院で用いられていたものだ。

これらのパターンは、ヒーリングのための磁場を形成する。磁場は肉体的ヒーリングばかりでなく、精神的ヒーリングにも適用することができる。自分が感情的になっているときのヒーリングはもとよ

りである。霊的なエネルギーと肉体的なエネルギーを調和させる働きがある。

このパターンには、6個のクリスタル・クリスタルと1個のジェネレーター・クリスタルを使う。

①図③のように、クリア・クリスタルを6個、配置する（尖っているほうが頂点）。中央に人ひとりが座れる程度の空間をあける。

②六芒星パターンの真ん中に、座禅のスタイルで座る。足の組み方は、普通のあぐらでも、ヨーガや座禅の座り方でもかまわない。

③両手のひらを重ね、その上にジェネレーター・クリスタルを、頂

り、人間関係のバランスが崩れたときなどにも使えるのだ。

これらのパターンを実際に配置し、自ら使ってみて、そのエネルギーの効果を感じとり、慣れておくとよい。人間関係において、すばらしい道具になってくれるからだ。さまざまなエネルギーのパタ

点を上に向けて置く。

④目をつぶり、瞑想状態に入る。

⑤クリスタルを中心としたエネルギーの波動を感じてみる。

この配置で重要なのは、背面の第1ポイントと、正面の第6ポイントの2点である。これらは靈性（背面）と肉体（正面）のバランス点である。これらのクリスタルが、波動のバランスをとっている。

背面側の第4ポイント、第5ポイントのクリスタルは、第6ポイントとつながって、肉体的エネルギーに関係する三角形を構成している。正面側の第2ポイント、第

ーンについて学び、実際に体験してもらいたい。

実をいうと私たちの多くは、これらのパターンを過去に使ったことがあるのだ。とても不思議な感じがするが、実践を重ねていくと、いずれそのことに思い当たる日が訪れるだろう。

3ポイントのクリスタルは、第1ポイントとつながって、靈的エネルギーにかかわる三角形を構成している。

また、向かって右側の第2ポイント、第5ポイントの2個のクリスタルは、腰から下、つまり、下半身の部分と靈的・肉体的に関係する。左側の第3ポイント、第4ポイントの2個のクリスタルは、上半身の部分と靈的・肉体的に関係している。

このエネルギー・ポイントによって人間のあらゆる側面と連動し、靈的にも肉体的にも身体中のエネルギーの流れのバランスをとるこ

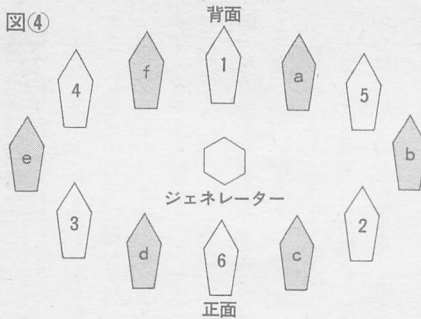


とができるのだ。

肉体的なヒーリングが目的で行う場合は、いちばん大きいクリスタルを第6ポイントに置くといよい。するとエネルギーが、肉体的波動のバランスをとるほうにより多く

## 十二芒星

次の十二芒星パターンでは、12個のクリスタル・クリスタルと1個のジェネレーター・クリスタルを使う。



図④

流れる。

一方、霊的な成長や感情面でのヒーリングが目的の場合は、いちばん大きいクリスタルを第1ポイントに置くといよい。そうすれば、エネルギーが霊的な三角形のほう

## 覚醒や悟りへの到達を助ける

る程度の空間を中央にあけておく。  
②次に、六芒星パターンの間にa、b、c、d、e、fの文字で示されるクリスタルを配置して十二芒星を構成する。

③六芒星パターンと同様に、ジェネレーター・クリスタルを手のひらに置いて、パターンの中で瞑想する。

\*

この形は、ほとんど円のようにだと思われるかもしれないが、実際はそうではない。

まず最初に六芒星を配置すること、**ダレデ**の星形のエネルギー・パターンを設定するのだ。それによってクリスタル・エネルギーの磁場が形成される。その後にもうひとつの六芒星パターンを配置するところに意味がある。

これによって宇宙の男性的エネルギーと女性的エネルギーの調和をもたらすことができるのだ。

12個のクリスタルのうち、数字で示されている六芒星パターンは男性的エネルギーに、アルファベ

により多く流れ、霊性や心理的レベルのエネルギー・バランスをとることになる。

このパターンで使われる7番目のクリスタルはジェネレーターだが、これは、ヒーリングを受ける

ット文字のパターンは、女性的エネルギーに対応している。

これにより、人間の波動の全範囲にわたるヒーリングが行われる。したがって、漫然と12個のクリスタルを円形に並べないようにしてもらいたい。

また、この十二芒星のパターンを使う場合には、ちよつとした注意が必要だ。

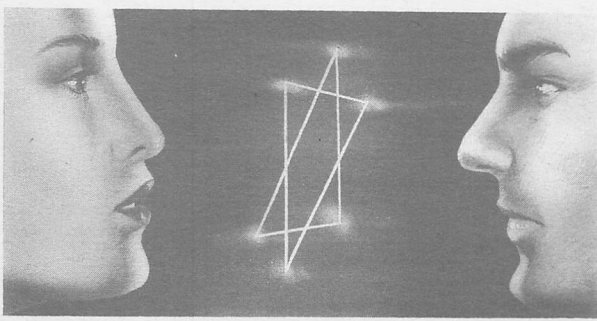
というのも、このパターンのエネルギーは、強力かつ完全なものだからだ。エネルギーが強すぎて、なかにはかえってバランスを崩し、不快感を覚えたり、不調をより拡大してしまうケースがある。だから、少しでも不快感を感じたら、すぐにこのパターンの中から出してもらいたい。

このパターンは、主として、意識レベルで自らの魂やマスターたちとかわる準備のできている人に用いるべきものである。

十二芒星は、波動のパターンを整え、より効率的に、より速いペースで覚醒や悟りに達するのを助

人が手に持つ。周囲の6個に分散されたエネルギーを集めるレセプター(受容器)の役割を担っている。エネルギーの場を一樣にして、身体や霊体が必要とするエネルギーを受け取るためのものだ。

けてくれるだろう。また、完全な浄化作用と解毒作用を持つている。このエネルギー・パターンによって影響を受けない側面はない。身体中の細胞からアストラル体やメンタル体に至るまで、これらのエネルギーによってよい影響を受けるだろう。



# 輪の配置

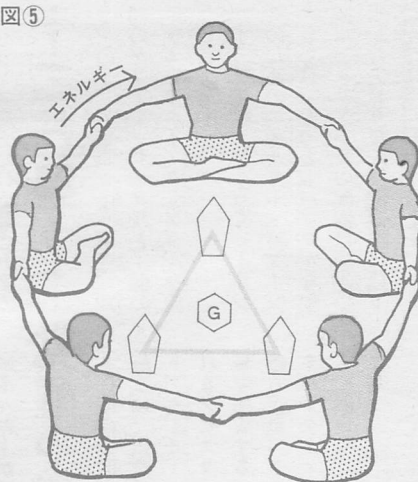
\*\*\*\*\*

次のパターンは、人がたくさん集まったときのための配置法だ。

用意するものは、3個のクリア・クリスタルと1個のジェネレーター・クリスタル。ヒーリングや仲間との間の協調関係を強めるために使うといいだろう。

人数は、3〜4人から20人くらいまで。それ以上の人が集まった場合は、いくつかの輪をつくらせよう。

①参加者は互いに手をつないで、輪をつくって座る。



図⑤

## 2つの三角形

2人の人の間にストレスや誤解感情的対立がある場合には、次の実習をおすすめる。これは、理

リスタルが三角形になるように置く。クリスタルの間の距離を測り、三角形の3辺の長さが等しくなるようにする(図⑤)。

③三角形の中心には、ジェネレーター・クリスタルを置く。

④準備ができたなら、参加者はそれぞれ瞑想に入る。

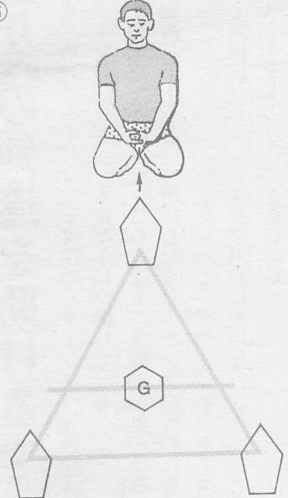
⑤次にリーダーが合図を送って、人の輪に沿ってエネルギーが右回りに流れるようにイメージする。

⑥全員の波動レベルが均一になり、エネルギーが滑らかに流れるようになったら、リーダーが「エ

## 争いを解決する配置

解をもたらし、バランスを取り、波動の流れにもバランスを取り戻すことができる。この配置法では、

図⑥



ネルギーを輪の中心に集中してください」と告げる。

⑦リーダーの声を聞いたなら、全員がエネルギー流を三角形の中心にあるジェネレーターに集中させるようにイメージする。

このエネルギー流は、ジェネレーターにより、三角形を構成しているクリスタルへと導かれ、ヒーリングのために、輪に座っている参加者へと戻っていく。

\*

このパターンには、2つの目的がある。まず、その主要目的は、輪に座っている人に霊的ヒーリン

グを施すことである。これは、ちょうど瞑想中に得られるヒーリング効果と同じである。

2番目の目的は、ジェネレーター・クリスタルの波動を高めてパワーと周波数を増幅・増加することにより、将来もつと役立つようにするためだ。

輪の中のだれかが肉体的な病気を患っていて、ヒーリングをする必要がある場合には、その人に輪の中に入れてもらう。

そして、クリスタルで構成した三角形の2辺を引き伸ばして変形し、三角形の先端がヒーリングを受ける人に向くようにする。さらに三角形の底辺からおよそ3分の1の高さのところまでジェネレーターを移動する(図⑥)。

これは、ちょうどピラミッドのような効果がある。

次に、もう一度、最初からエネルギーを流すプロセスを繰り返して、エネルギーをジェネレーターに送る。するとエネルギーが集まり、ヒーリングの対象となる人に流れていく。

ひとり3個、計6個のクリア・クリスタルを使う。

①2人で向かい合い、およそ90センチくらいの間隔をおいて座る。

図⑨



人物 ●



ジェネレーター

このパターンはエネルギーの三角形を9個つくりだす。すなわち、A B C、A C D、B C D、A B D、

- ①まず、4個のクリア・クリスタルで長方形を構成する。このとき長辺が短辺の2倍になるようにする(図⑨)。
- ②次にジェネレーター・クリスタルを長方形の中心に正確に置く。
- ③この配置の前に座り瞑想する。

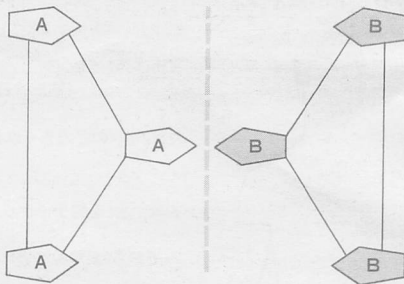
\*

# 火のクリスタル

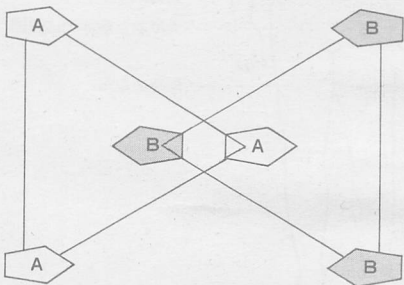
# 心に強さと平静をもたらす配置

★★★★★★★★★★

図⑦



図⑧



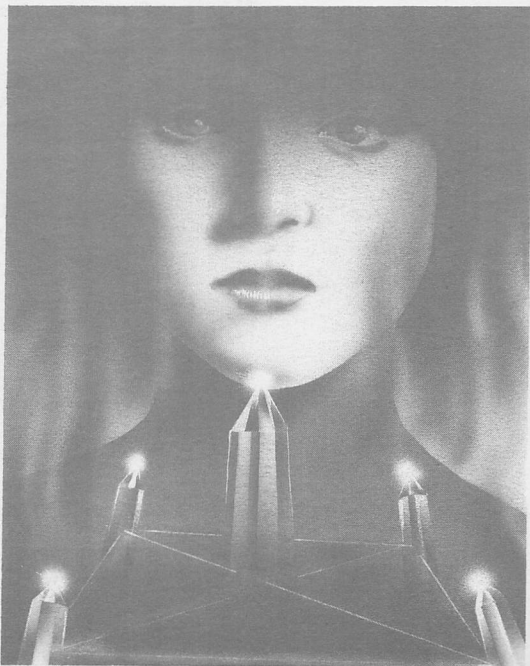
- ③次に、両者を分離している想像上の線が、自分と相手の中間点にあるイメージする。
- ④イメージできたら、三角形の頂点にあるクリスタルを、その線よりも相手に近い位置に置きなおす。そうすると、2つの三角形の重なる場所に見えない菱形ができるはずだ(図⑧)。
- ⑤次に、目をつぶり、瞑想する。2人の間の問題について、いろいろな感情や思考が出てきても、やる必要はないが、同時にこの配置をしている間だけはとらわれな

いようにする。

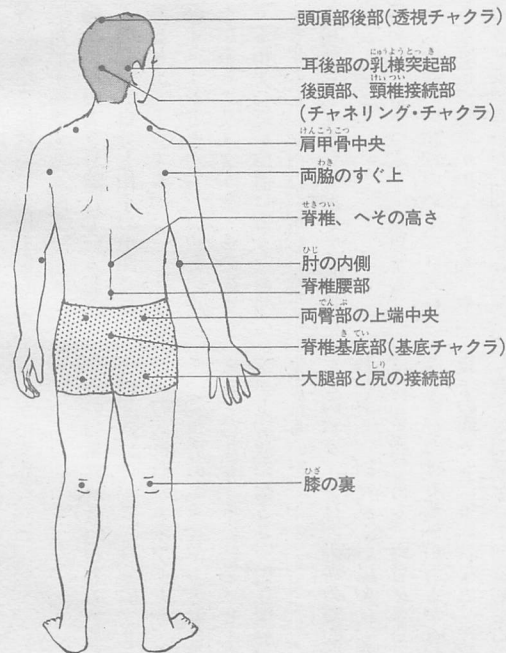
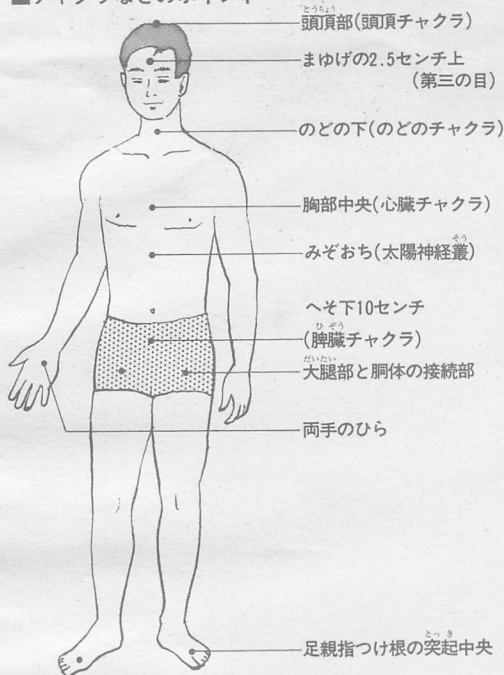
\*

この効果は象徴的なものである。この配置によって、自分のクリスタルの三角形のエネルギーを、相手の三角形のエネルギーと混合することになる。その結果、ヒーリングと解放が起こり、相互理解が生まれるのだ。

このパターンは、両者の霊的波動が近く、相性がよい場合は、非常に効果的である。両者をさらに深く結びつける働きがあるからだ。親子の間でも、争いのない、理解し合える関係を築くのに効果的である。



■チャクラなどのポイント



# 身体の上に配置するオーバレイ・パターン

AGD、ABG、BCG、CDG、そして、ジエネレーター自身が9個目となる。  
この配置は特定の用途を持つているので、それほど頻繁に用いられるわけではない。

たとえば、いろいろな問題を抱えていて、プレッシャーに圧倒されそうなときに、この配置を用いるとよい。そうすれば、冷静になって、ひとつひとつの状況に対処できる。

この配置は、心に強さと平静をもたらし、それほどプレッシャーを感じないで、人生のこれからの側面を無事に終了するのに役立つのである。  
また、物事の始まりの時期とか、

新たに何かにとりかかるときや新規のプロジェクトに臨むときに、この形を前にして瞑想するとよい。新しい方向についての思考が明晰になり、成功への道筋が見えてくるだろう。

## クリスタルの使用に関する注意点

ここでいくつかの注意点を述べておこう。

①まず、ジエネレーターには、透明で純粋なクリスタルを用いることをおすすめする。  
②ほかのポイントに使うクリア・クリスタルは、曇りのあるクリスタルを用いることもできる。ただし、両者を混合しないほうがよい。

③色に関しては、霊的なヒーリングのためのパターンには、青紫または紫色のクリスタルを用いるとよい。肉体的なヒーリングのためには、赤褐色、あるいはさび色のクリスタルを用いるとよい。ピンク色のクリスタルも、霊的ヒーリングに用いることができる。  
④どのクリスタル・パターンでも、

この配置の中で瞑想したり、ヒーリングする時間は、15分から20分を標準的時間とすることをおすすめする。  
ただし、これらのパターンを使う人がエネルギーをうまく吸収しているかどうかは、ときどき確認したほうがよい。頭痛を感じたり、過剰なエネルギーが身体に蓄積さ

れているようであれば、時間を短くしてもらいたい。  
強いエネルギーをオープンに受け取ってしまう場合、時間を長くすると耐えられないことがある。こういう場合には、エネルギーにどう反応しているかをときどき確認しつつ、少しずつ時間を伸ばしていくとよい。

クリスタルをヒーリングに用いる場合、身体の上に直接クリスタルを配置する応用的なパターンが多数ある。身体を囲むクリスタル・パターンと併用してもかまわないし、用いなくてもよいが、このパターンは「オーバレイ・パターン」と呼ばれる。

クリスタルを置くべき位置は、身体のチャクラおよびエネルギー注入ポイントと、直接、関係している。各ポイントは、右ページの図と左上の図を参照してほしい。身体の上にオーバレイ・パター

ンを構成する場合は、いつでもこれらのチャクラおよびエネルギー注入ポイントの上にクリスタルを置くことよ。

配置法は、目的によって無数にあるが、ここでは紹介しきれないので、どのような問題にも使える究極のオーバレイ・パターンを紹介しておこう。

①ヒーリングを受ける人に仰向けが頭に向くように置いていく。置く位置は、両手のひら・両大

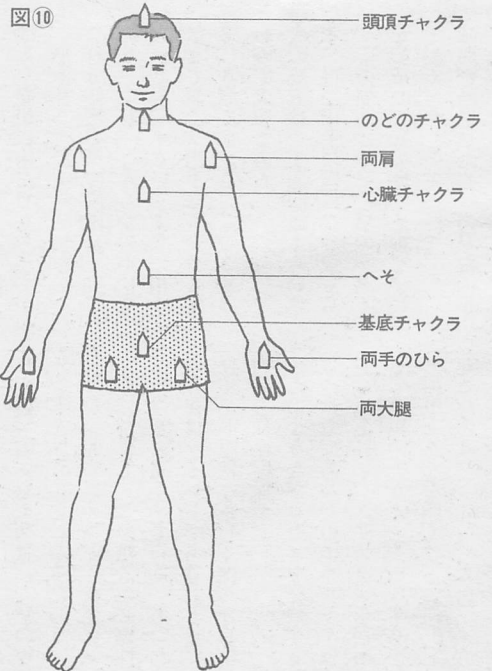
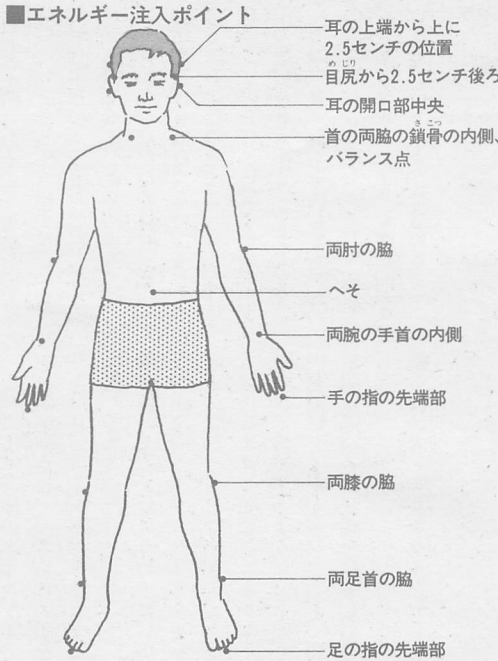


図10

腿の上・基底チャクラ・へそ・心臓チャクラ・のどのチャクラ・両肩の上・頭頂チャクラである。(図10)。

以上、合計11個のクリスタルを配置することになる。

⑧被術者自身が12番目の要素となつて、配置は完成する。

\* この配置は、エネルギー分布を矯正し、バランスをとる働きがある。そして、エネルギーの乱れ、滞りを取り除く。また、あらゆる精神的苦悩、自己批判に起因する

問題を感じられるようにする効果がある。

だれであれ、このプロセスが起こつているときは、ひとりにしないようにする。通常は、感情的反応があり、精神的に支えてあげたり、自信をもたせる必要がある。

例によって、適用分野は、ここで述べたものに限らない。各自で判断してもらいたい。自分の内なる声に耳を傾け、あらゆる分野のヒーリングにおいて、オーバレイ・パターンの適用方法をつけ加えることができよう。

## クリスタルによるエネルギー調整

最後に、クリスタルのエネルギーに慣れてきて、だれかをヒーリングするための方法や手順、心構

えなどを紹介しておこう。

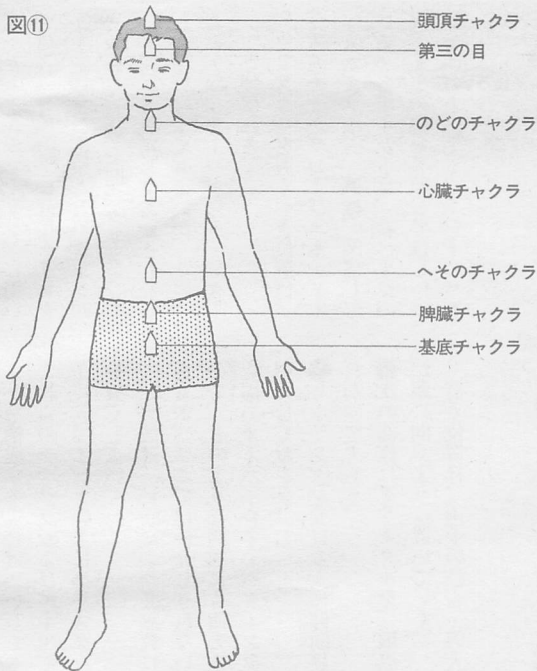
地球は、現在、新しい次元に向けて進化しつつあり、新しい周波

数の状態へと移行している。

こういった状況の中で、まだ、「霊的に眠っている」人間は、とき

に新しい周波数との干渉を起こして、混乱に陥ることがある。心の平安を見出すことができなくなる

図①



のだ。そんなとき、クリスタルを使ったヒーリングがたいへん役立つだろう。

心を乱した人があなたのもとを訪れたとしたら、まず、現在が大きな変革期であることを話してもらいたい。そして、相手にこの状況が原因となつて不調が起こることを説明することから始める。

それから、あなたの目的、意図を伝えなければならぬ。もしも、相手があなたの意図に同意しなければ、その人には処置をせず、相手の選択を尊重することである。

このプログラムを決して人に押しつけてはならない。もし、相手がクリスタル・ヒーリングに同意したら、以下のように進める。

①相手に仰向けに横たわってもらう。そして、あなたの手を円を描くようにかざす（向きはどちらでもかまわない）。少なくとも5分間は、これ続ける。

これにより身体のエネルギーストリームが刺激されて、さらに刺激を与えたり、エネルギーを注入する準備ができるのだ。

②7個の基本チャクラの上に、頂点が頭を向くようにクリスタルを置く（図①）。そして、各チャクラ上のクリスタル間に、エネルギーが流れて接続するように、7回、円を描いて手をかざしたあと、10分間ほど、その状態を経験してもらう。

③それから、クリスタルを取り除

いて相手に話しかける。相手は多少、不安を感じているはずである。その経験を話してもらい、相談に乗ってあげる。完全に落ちついたら、以下のように続けていく。

④足の親指つけ根のふくらみの中央に、テープで小さなクリスタルを張りつける。両方の手のひらに頭向きにクリスタルを置き、両肩には足向きにクリスタルを置く。さらに心臓チャクラに頭向きにクリスタルを置く。

⑤次にクリスタル（身体に乗せたものより大きなクリスタル）を自分の手に持ち、身体の上にかざしてクリスタル回路を接続していく。

回路の接続が完了したと感じられたら、そのまま10分間、横になつたままでもいいだろう。それが終了したら、クリスタルを取り除き、しばらく静かに休んでもらってから、話をする。

これで処置の第1段階は、完了である。もし、なんらかの不快感があつたら、すぐいように相手に伝えておく。相手は不安や心配を感じるだろうから、このことはきわめて大切である。

⑥次の処置は、1週間後くらいになる。再び相手に横になつてもらい、その周囲に十二芒星のパターンを形成し、10分間、そのままにしておく。

時間が経過したら、あなたの手

を相手の両肩に置き、それから全身に沿って下へ降りていく。これを3回繰り返す。この間も相手は十二芒星のパターンの中にあることになる。

この処置を1日おきに7回繰り返す。いずれも、処置が終了したらしばらく相手に休ませる。するとエネルギーが分散して、終わってからフラフラせずすむ。

⑦ここからが本当の仕事である。相手は徐々に変化していき、新たな意識が芽生えてくる。このとき、話し相手がいることが、きわめて重要なのである。そうでないと、相手は恐れや無知のために扉を閉ざしてしまふ。緊密な連絡を保つて、質問に答えていけば、相手は成長しはじめる。

こうしたエネルギー調整（周波数変更）のプロセスは、人類のマインドを開くことになるだろう。人々が周囲のエネルギー変化に気づくにつれて、この処置の必要性は日ごとに高まっていく。あなたの存在はマインドである。もし、マインドを秩序正しく保つならば、肉体も秩序を保つ。

このようなプロセスを経験するにつれて、あなたのエネルギーはさらに上昇し、クリスタルを利用して透視のチャクラ、チャネリングのチャクラを開くことになるだろう。



# アトランティスのシンボルと宇宙のシンボル

地球は現在、進化のプロセスにあり、新しい次元に移行しつつある。その過程においては、太古のアトランティスの意識が甦ってくるという。それにつれ、人類は「幾何学の言語」を理解しはじめるだろう。これは、コミュニケーションや表現のひとつの形であり、エネルギーの回路でもあるのだ。

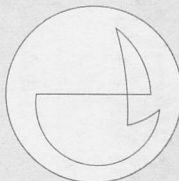
この言語を構成する、一連のアトランティスのシンボルと宇宙のシンボルを紹介することにしよう。これらの形になつかし

さを感じる人もいるだろう。もしそうならば、そのシンボルを使って瞑想を行い、さらに明確化し、解釈してみるとよい。

もちろん、これらのシンボルを身につければ、アトランティスのエネルギーがあなたを守護することになる。付録の「アトランティアン・アミュレット」は、そのためにアレンジしたものである。以下の解説からあなたの目的に合ったシンボルを選び、身につけるといいだろう。

## ★拡大

このシンボルは、純粋なエネルギーを示している。力強く、尖った部分と、滑らかな流れの部分を持つ。強さ、決断を表すと同時に、ソフトさ、流動性を合わせ持っている。拡大の象徴である。



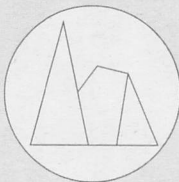
## ★物質界のパワー

このシンボルは、物質界に適用されるパワーを表す。上からエネルギーが入り、強さと真理の土台を築き上げていく。成長することで、自然な進化を手助けする。



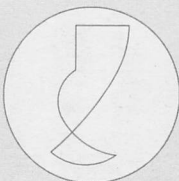
## ★物質的成功

このシンボルは、霊的な波動を物質界に適合させて、整合性を持つようにするという意味で重要だ。そしてまた、霊的財産を活用して、物質的成功を収めることにも関係するシンボルである。



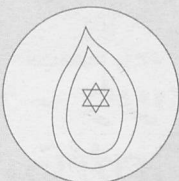
## ★ネガティブな表出からの守護

流れるような、それでいて制限されている抽象的シンボル。ネガティブな表出から身を守ったり、経絡のバランスを高めるのに用いられる。



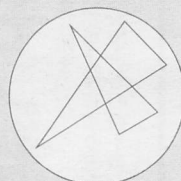
## ★バランスをとる

このシンボルはいつでも形を変えられ、中心部では常にバランスを保つことができる。与えられた状況に対して、融通のきかないやり方ではなく、状況の両面から取り組むように告げている。



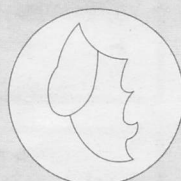
## ★自己コントロール

これは、自己コントロール、表出や行動を自ら方向づけるシンボルである。こうした性質がないと、目標に到達することはできない。



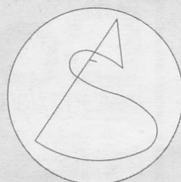
## ★母の導き

愛をもって支配し、分かち合うと同時に、しっかりと正しい方向へと導いてくれる「母の導き」を象徴する。このシンボルは、確固として自らの真理を守りながら、愛を忘れないように告げている。



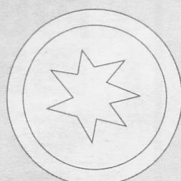
## ★スピリチュアルな安定性の獲得

いくつかの流動的な三角形を持ち、液体が動いているようにも見える。このシンボルは、地球から上昇してスピリチュアルな安定性を獲得し、低い制約から自由になることを象徴している。



## ★永遠の成就

このシンボルには「天地創造」のあらゆるエネルギーが含まれている。永遠の成就、成功のシンボルである。そして、神の子として、魂の永遠性を受け入れるように告げている。



## ★神

水平の図形は地球界を象徴し、垂直の図形は霊界を表す。このシンボルは、全知全能の慈悲深い「神」に関係するものである。

